

元積丹町長 故白鳥忠世さんに旭日單光章

2期8年 町の基盤整備に尽力



去る7月21日、自宅で急逝された元積丹町長白鳥忠世さんに、同日付けで旭日單光章が授与され、9月8日に総合文化センターで伝達式が行われました。

伝達式には、岩本議長や議会議員、井平教育長、町管理職職員など20人が出席し、松井町長から紀代夫人へ内閣総理大臣からの勲記と勲章が伝達されました。

式の中で松井町長は、「白鳥さんには、去る7月21日にご逝去されましたから早いもので四十九日のご命日を迎えました。改めてそのご功績を称え、在任中のご労苦に対し深く感謝を申し上げ、心からご冥福をお祈り申し上げます。奥様には、どうかこれからもご壮健でお過ごしをいただきますように願っております。」と亡き白鳥忠世さんの栄誉を称えました。

紀代夫人からも、「このような大変名誉ある章を受章できたのは、皆さんのお陰です。」と丁寧なお礼の言葉がありました。

白鳥さんは、昭和35年に積丹町役場に入庁され、4代の町長の下で、企画観光、歳入、民生、総務などの課長を経て、平成8年6月第5代馬場町長の死去に伴う積丹町長選

挙で初当選。平成16年6月までの2期8年間町政を担われ、水中展望船の更新、岬の湯しゃこたんの建設、余別小学校・余別地区コミュニティセンターの改築、廃棄物最終処分場、船瀬地区の水道整備などに尽力されました。

また、9月21日招集された第3回町議会定例会での町政報告の冒頭で松井町長が改めて次のように弔意を述べました。

去る7月21日町内在住の元積丹町長白鳥忠世氏（72歳）が、急逝されました。

平成8年から平成16年までの2期8年間の在任中、本町の振興発展に日夜ご尽力いただきましたご功績を称え、そのご労苦に対して深く敬意と感謝を申し上げ、町民の皆様とともに心からご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。

